

2023 年度人文社会科学部後援会支援事業報告書

申請者：川島佑介

事業区分：学生の教育研究活動支援

事項：実地学習（いわき市）への交通費補助

期間：2023 年 11 月 21 日～22 日

現在の学生は、小学生の時に東日本大震災を経験し、青春時代は地方における人口・財政の本格的な縮減期にあたり、高校生・大学生生活はコロナ禍の直撃を受けており、厳しい時代を経験してきた。しかし、厳しい時代だからこそ、広い知識と深い知恵、コミュニケーション力を併せ持つ次世代リーダーの育成が求められる。そこで、行政学ゼミナールでは、①東日本大震災の伝承と復興の調査、②地方都市における産業と生活の視察、③学生同士の親睦の深化を目的として、いわき市への一泊二日の実地学習を実施した。

①について：いわき・ら・ら・ミュウに設置されている「ライブいわきミュウじあむ」を視察した。東日本大震災の被害の大きさを改めて実感するとともに、そこから立ち直ろうとする人々や、次世代の育成に関心を寄せる人々の取り組みを隅々まで知ることができた。

②について：いわき市は東北地方第二位の人口を有する大都市であると同時に、小名浜港を抱え、東北地方の電力・産業を支える都市でもある。小名浜港とその周辺を視察し、東日本大震災からの力強い復興の様子を視察することができた。

③について：いわき市のホテル「浜とく」に宿泊し、旅情を楽しむとともに、日ごろの勉強や就職活動、生活について歓談し、学生同士のコミュニケーション力を高めることができた。二日目は解散したが、多くのメンバーは郡山市を視察し、現地の状況を視察するとともに、学生交流を行った。

この機会をくださった、人文社会科学部後援会に対して、厚く感謝申し上げます。



①ライブいわきミュウじあむ入口にて



①ライブいわきミュウじあむを視察



①ライブいわきミュウじあむを視察



②小名浜港を視察



②小名浜港を視察



③学生同士の歓談



③郡山市の視察